

第5回 品質管理

日時 令和2年11月2日(月)9:30~16:30

会場 テクノサポート岡山 大会議室

対象 自動車関連企業等の中堅社員から
新人係長クラスの方

講師 (一社)中部産業連盟 コンサルタント
内山 幸二 氏

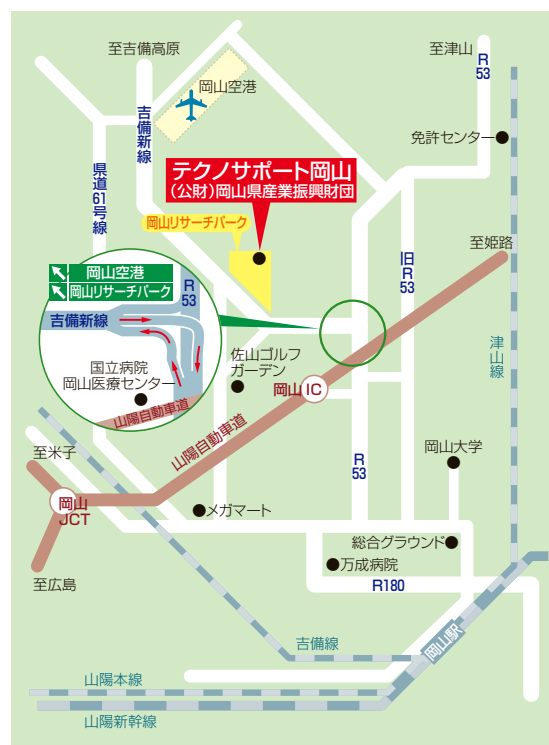
大手自動車部品メーカーにて、品質管理及び品質保証業務に20年間従事。品質不具合の対応、品質強化戦略の策定など実務からマネジメントまで幅広く経験。品質管理・品質保証業務全般、品質改善支援などコンサルタントとして活躍。

研修のねらい

開発段階から品質管理を考慮することで、品質管理の必要性、重要性を学び、品質管理活動に役立てます。また、問題解決の手順と活用される統計的手法を学び、製造現場の品質管理、品質保証に役立てます。

カリキュラム

- 品質管理の概念
 - 品質とは？管理とは？
 - 品質管理と品質保証
 - 品質管理の必要性
 - 品質管理活動の推進
 - 不具合発生を予測した工程保証とやるべき事
 - 設計開発ステップでの品質管理
 - 工程管理を充実させて楽をする
 - QC 的問題解決と7つ道具
 - QC 的問題解決とは
 - 事象を客観的に捉えるための統計管理
 - 統計的管理と QC 7つ道具の手法の理解と活用
 - 層別
 - パレート図
 - 特性要因図
 - チェックシート
 - ヒストグラム
 - 散布図
 - グラフ管理図
- 【演習】QC 7つ道具の手法理解
- 品質管理における部下育成と指導スキル
 - 品質の教育は時間がかかる
 - 指導者に推奨される指導スキル
 - 品質管理において必要な教育と事例



〒701-1221 岡山市北区芳賀 5301 (テクノサポート岡山)
 公益財団法人 岡山県産業振興財団
 ものづくり支援部 研究開発支援課
TEL : 086-286-9651 FAX : 086-286-9676
 E-MAIL : jidousya@optic.or.jp
 ホームページ URL : <https://www.optic.or.jp/>

- 車でお越しの方
山陽自動車道 岡山 IC より岡山空港方面へ 【約 10 分】
- バスでお越しの方
岡山駅よりバス (中鉄バス) 岡山駅 (6 番のりば)
芳賀佐山団地・リサーチパーク行→工業技術センター下車 【約 35 分】

人と企業を大切に！頑張る中小企業の応援団



中堅社員向け工場管理研修ガイド

工場管理の5大任務 (人材育成・生産・原価・安全・品質) を習得し、現場で活かせるマネジメント力を養成します！



全5回
定員：各回20名

研修コース全日程 受講料：3,000円(税抜) / 各回 会場：テクノサポート岡山 大会議室

	研修コース	開催日程	申込締切
第1回	人材育成	令和2年9月18日(金) 9:30~16:30	令和2年9月14日(月)
第2回	生産管理	10月5日(月) 9:30~16:30	9月30日(水)
第3回	原価管理	10月12日(月) 9:30~16:30	10月7日(水)
第4回	安全管理	10月26日(月) 9:30~16:30	10月21日(水)
第5回	品質管理	11月2日(月) 9:30~16:30	10月28日(水)

主催：岡山県、公益財団法人 岡山県産業振興財団

第1回 人材育成

日時 令和2年9月18日(金) 9:30~16:30

会場 テクノサポート岡山 大会議室

対象 自動車関連企業等の中堅社員から
新人係長クラスの方

講師 (一社)中部産業連盟 参事 マネジメント開発部
部長 杉藤 里美 氏

産業カウンセラーおよびキャリアコンサルタントなど幅広く活躍し、メンタルヘルスおよび企業内ハラスメントに対する組織体制づくりや社員教育に定評がある。職場を活性化させることを目的としたコミュニケーション、リーダーシップに関する研修講師を務める。

研修のねらい

中堅社員、監督者が共通して求められる役割は、個人の担当職務を遂行すると同時に周囲に積極的に働きかけることです。組織の目標・方針を理解し、上司の補佐や後輩の指導、職場全体のチームワークや風土づくりなど職場運営について学びます。

カリキュラム

- はじめに
(1) モノづくり「リーダー」のあるべき姿に向けて
(2) 研修の目的
 - 中堅社員・監督者の位置づけと役割
(1) 位置づけ
(2) 意識すべき5つの大きな役割
- 【ワーク】あなたに求められている役割とは？
- 必要な能力と人間力
 - 監督者の5大任務
(1) 職務基準の例
(2) 職場のリーダーの5つの条件
 - リーダーシップとフォロワーシップ
(1) リーダーシップとは
(2) これからのリーダーシップ
(3) フォロワーシップのすすめ
 - 職場づくりコミュニケーション
(1) 明るい職場づくり
(2) コミュニケーション技法
(3) 部下の捉え方
(4) 人に関する職場問題の未然防止
- 【ワーク】あなたのタイプ
- 意欲を向上させる技法
- 【ワーク】リーダーシップ事例
- 職場での実践に向けて

第3回 原価管理

日時 令和2年10月12日(月)9:30~16:30

会場 テクノサポート岡山 大会議室

対象 自動車関連企業等の中堅社員から
新人係長クラスの方

講師 あこう管理会計コンサルティングLLP
梅田 浩二 氏

豊田自動織機、東海理化で経理部原価管理室、経営企画部、海外企画部、監査室において事業部予算管理、国際税務などに従事。財務執行役員として米国子会社勤務。社内講師として中堅社員向け管理会計教育などを担当。

研修のねらい

顧客ニーズに適合する製品を適正価格で提供するには、低コストで効率的なモノづくりの仕組みを構築する必要があります。受講者が①原価概念を職場で共有できる、②原価情報を使って生産活動上の問題点を顕在化できる、③原価を維持・改善するための着眼点を持ち改善の方向性を示せることを目標とします。

カリキュラム

- 製造業における原価管理活動の意義
(1) 企業活動の目的と原価管理による付加価値の向上
(2) サプライチェーン全体を通じた価値連鎖活動
①原価主義(プロダクトアウト)と市場主義(マーケットイン)
②原価管理の3本柱
- 製造業における原価管理 –その1–
(1) 原価の構成要素
①機能別分類
②直接費と間接費、変動費と固定費
(2) 原価管理マップの作成
①「誰が」「何を」管理するのか
②管理不能な費用と責任部署への情報提供
(3) 原価管理の方法
①原価で問題点を顕在化する理由(生産性指標との関連)
②原価差異分析(費用別予算管理も含めて)
③コストダウンの着眼点
- 製造業における原価管理 –その2–
(1) つくりすぎのムダが実際の原価(キャッシュ)に及ぼす影響
(2) 生産性指標や原価差異情報では顕在化しないつくりすぎのムダ
(3) 在庫低減活動の意義
①企業活動の目的を原点に立ち返り再考する
②総資産利益率(ROI)最大化と在庫回転率の関係
③在庫低減を通じた株主や債権者への貢献

第2回 生産管理

日時 令和2年10月5日(月) 9:30~16:30

会場 テクノサポート岡山 大会議室

対象 自動車関連企業等の中堅社員から
新人係長クラスの方

講師 (一社)中部産業連盟 コンサルタント
高橋 拓也 氏

大手自動車部品メーカーで新工法の開発と海外展開および改善活動に従事。社内講師として国内外工場の従業員に対してIE、TPSを用いた改善手法のセミナーおよび現場での実践会を行う。管理監督者向けの研修講師並びに現場改善コンサルタントとして活躍。

研修のねらい

日常のものづくり活動や管理、改善活動に対して生産管理がどのように貢献しているのか。そのメカニズムを理解して頂きます。さらにQCDへの影響、変化点(4Mに対する変化)への対応について学び、生産管理業務を通じて自社におけるコスト低減に貢献します。

カリキュラム

- 生産管理の基本・生産管理の目的と概要
(1) 生産管理の目的
(2) 生産管理の機能
(3) 生産管理業務の流れ
- 生産計画と調達計画
(1) 生産方式
(2) 生産計画の立て方(演習)
(3) 調達計画の立て方(演習)
- 工程管理と計画・統制・納期
(1) 発注・在庫管理
(2) 日程計画と差立
(3) 進捗管理(演習)
- QCD(品質・コスト・納期)の実施と取り組みポイント
(1) QCDと生産管理
(2) 変化点管理
(3) 自社の管理状況(演習)
- 生産現場でのIT活用
(1) キットを用いてIoTツールを体感
(2) IT、IoTの活用事例の紹介

第4回 安全管理

日時 令和2年10月26日(月)9:30~16:30

会場 テクノサポート岡山 大会議室

対象 自動車関連企業等の中堅社員から
新人係長クラスの方

講師 (一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント
桑子 優 氏

元トヨタ自動車 三好工場次長。製造部にて、生産準備、試作生産から本生産に従事した後、工務部にてトヨタ社内資格教育事務局・トヨタ学園職場指導員などを担当。その後、生産技術を経て工場の全体統括業務を経験し、愛知県優秀技能者に輝く。

研修のねらい

生産現場では、品質の良い製品をより安く、早くつくることが求められますが、その前提には、現場の安全や従業員の健康があります。生産現場に不可欠な安全衛生に関する基本事項を習得し、現場のリーダーとして、職場の安全衛生の確保や災害防止のためにメンバーをリードするための考え方や進め方を学びます。

カリキュラム

- 企業における職場安全と労働災害
(1) 作業安全と労働災害
①企業と安全最優先
②災害発生時の損失と生産性
(2) 労働災害の原因と対策
①労働災害発生の原因
②災害要因の解析と対策
- 職場の安全管理(安心・安全な職場づくり)
(1) 安全な人づくり
①危険予知能力の向上
②ルール遵守の人づくり
(2) 安全な作業づくり
①危険率の高い作業
②作業の標準化と標準化し難い作業
(3) 安全な設備づくり
①設備の本質安全化
②既設設備の安全対策
(4) リスクアセスメント
①リスクアセスメントの重要性
②リスク評価と安全対策
③リスク管理表の作成と留意点
(5) 健康管理
①自己管理(心身の健康づくり)
②職場管理(健康管理と配慮)
(6) 職場の安全活動 序章 トヨタにおける安全の考え方
①安全活動のしくみづくり
②効果的な安全点検
③全員参加の安全活動